

「かわ」と「まち」のおいしい関係 ～かわまちづくり支援制度～



かわまちづくり(支援制度)

ウェブ 画像 動画 知恵袋 地図 リアルタイム 求人 一覧

かわまちづくり

検索

ウェブ 画像 動画 知恵袋 地図 リアルタイム 求人 一覧

ミズベリング

検索

MIZBERING ミズへの未来を創造する

お問い合わせ



水辺のアクションがもっと増えれば、 みんなのまちはもっともっと輝くはずだ。

なにやら全国の水辺が、ゆるゆると元気になってきた。
カフェやテラスができたり、巨大なアヒルが浮かんでいたり。
河川を管理する規制の緩和で、水辺のポテンシャルが一気に加速してきたみたい。

ミズベリング (MIZBERING) とは
かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクト。

ミズベリングは「水辺+RING (輪)」、
「水辺+ING (進行形)」、
「水辺+R (リノベーション)」の造語。
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、
ソーシャルなムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。



かわまちづくり支援制度 KAWAMACHIDUKURI APPROACH

～地域の資源をみんなで活かす～

古くから培われた地域の歴史や文化、
人々の生活とのつながりなど、
水辺にはその地域特有の資源があります。
また、水辺はその使い方によって
新たな価値を生み出す可能性を秘めています。

かわまちづくりは
地域の「顔」、そして「誇り」となる水辺空間の形成を目指します。



「かわ」と「まち」をつなぐ賑わいのある水辺空間の形成
かわまちづくりのイメージ 諏訪市 諏訪川

- かわまちづくり計画策定について
- かわまちづくり支援制度実施要綱 (PDF 89.2KB)
- 河川を活かしたまちづくりに関する検討
- かわまちづくり全国会議
- 「全国の水辺自衛隊発案」 -水辺とまちの未来創造プロジェクト-

かわまちづくり(支援制度)

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

【 支援制度による支援 】

<ソフト対策>

優良事例等に関する情報提供のほか、河川敷のイベント広場やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とする「都市・地域再生等利用区域」の指定等を支援

<ハード支援>

治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援

【 活用例 】

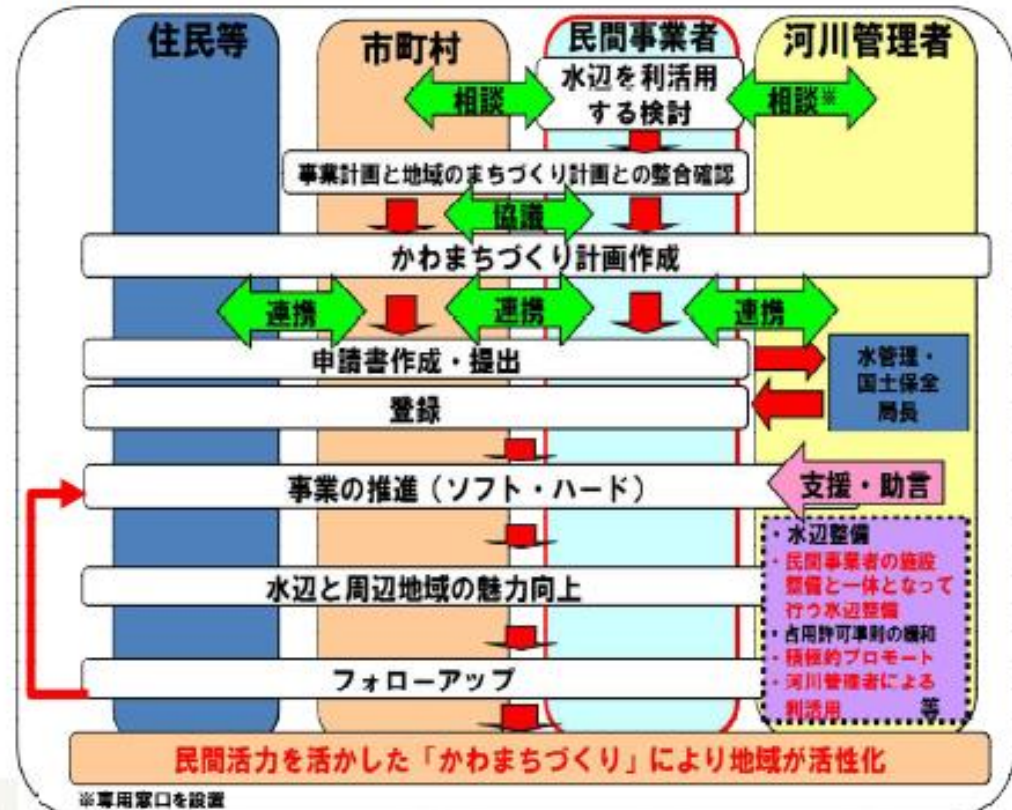
管理用通路をフットパスとして活用
(最上川/長井市)



水辺のオープンカフェ
(元安川/広島市)



【 申請に関する手続フロー 】



【登録の条件】※191地区登録（平成29年度末日時点）

- ①地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ②利活用方策が地域において明確となっているものを対象
- ③施設の維持管理に地域の協力が得られるものを対象

かわまちづくり支援制度実施要綱の改訂概要(H28.2)

○河口から水源地まで幅広い地域で「かわまちづくり」の取組みを推進します！

○「かわまちづくり」の計画作成の段階から民間事業者が積極的に参画できることとします！

○市町村や民間事業者等が「かわまちづくり」推進にあたり生じた課題に対応する専用窓口を設置します！

【改訂内容】

○これまで取り組みが少なかった水源地域で「かわまちづくり」に取り組み、**河口から水源地**までの流域全体で「かわ」を活かした地域活性化を促進します。



【水源地周辺の整備・利活用イメージ】



河川管理者と市町村等が連携して親水空間を整備



水辺の体験学習等のイベントを開催し、水源地域に賑わいを創出

○「かわまちづくり」の計画作成に、民間事業者が積極的に参画できることとしました。これにより、**民間事業者の発意による河川空間の形成が実現可能**となり、民間事業者と河川管理者が連携した水辺整備を行い、外国人観光客を魅了するような魅力ある河川空間を創出し、地域を活性化します。

(民間事業者と連携した水辺整備の例)

- ・民間事業者による水辺のオープンカフェ等の営業活動と河川管理者による護岸整備や管理用道路(散策路)の整備
- ・民間事業者による船着場の整備に併せ、河川管理者が高水敷整正、護岸、坂路等を整備

【整備・利活用の例】



那珂川(福岡市)

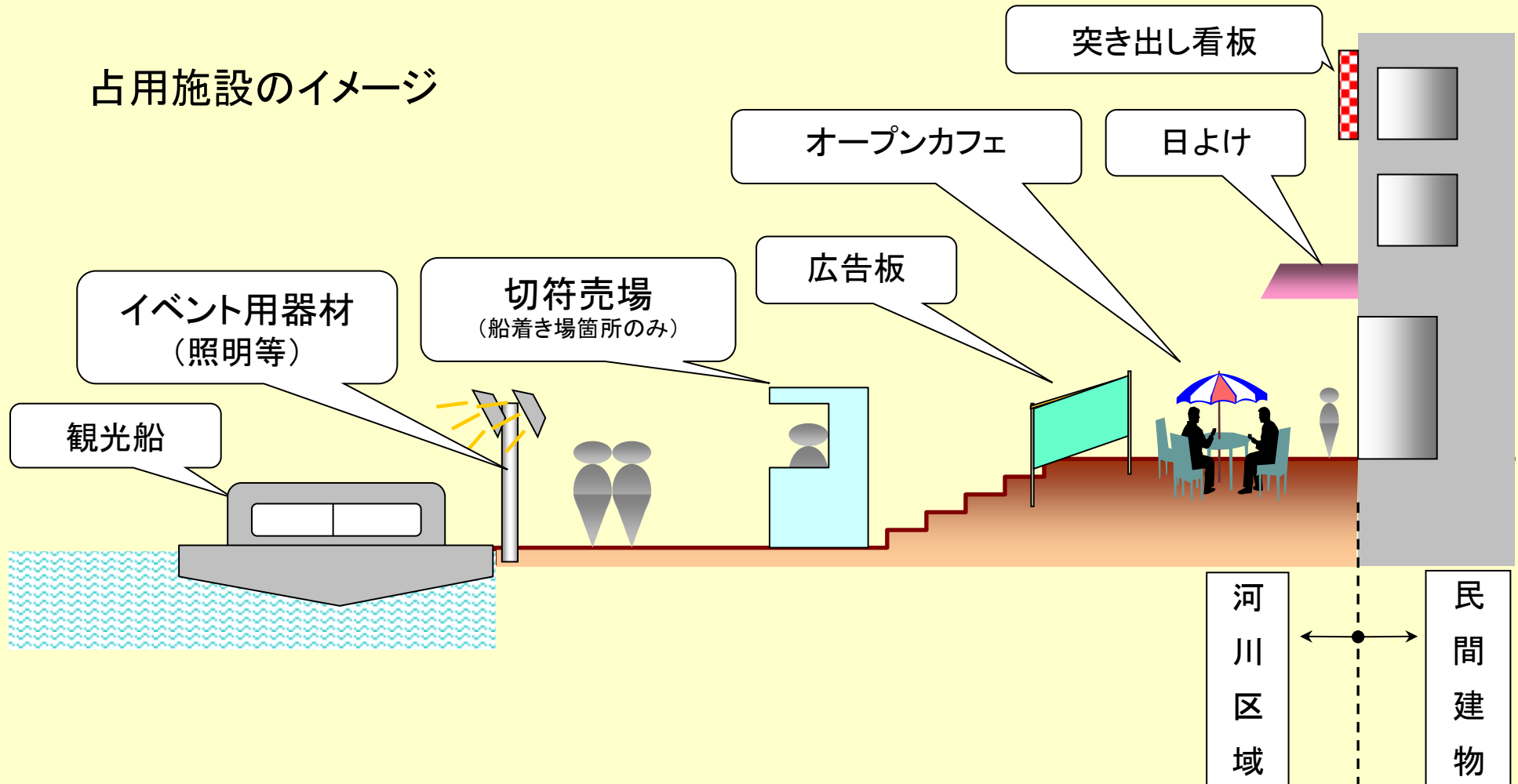


信濃川(新潟市)

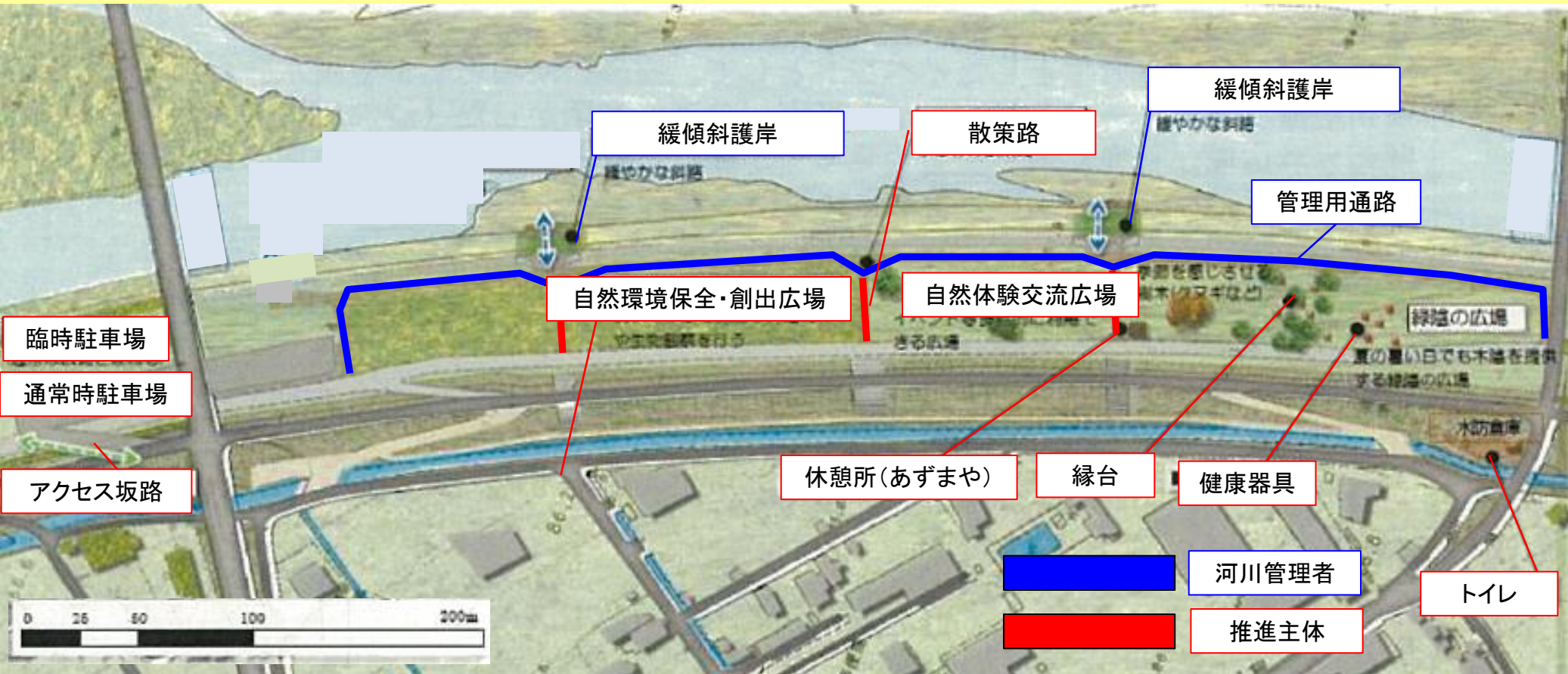
河川敷地占用許可準則の改正

平成23年3月の準則改正により、全国の河川で民間事業者が、飲食店、オープンカフェ、広告板、照明・音響施設、バーベキュー場等を設営することが可能となった。全国で水辺空間の様々な利用が加速している。

占用施設のイメージ



かわまちづくり ハード施策事例(参考)



ハード施策 (河川管理者) ……「かわまちづくり」において河川管理者が推進主体と連携して、まち空間と融合する河川空間を創出するために、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設を整備する施策

推進主体の整備等に対する補助金
「都市再生整備計画事業(まちづくり交付金)」「公園整備事業」「地方創生推進交付金事業」など

かわまちづくり 事例(守山市 野洲川)



整備前



現状(整備後)

活用状況



企業による清掃状況



BBQ利用状況



いかだ下り



水防訓練状況

- ・平成29年度に野洲川中洲親水公園(あめんぼう)が完成しました。平成30年のいかだくだりでは、56艇のいかたと約280人の参加者が集まり、またカヌー体験や野洲川の水をくみ上げて設置したプールなどの体験イベントや模擬店を開催しており、いかだくだり参加者やその関係者で賑わっていました。
- ・企業による清掃も行われるなど維持管理もされており、今後も地域活性化に向けた取組を行っていくところです。

かわまちづくり 事例(箕面市 箕面川)

取組内容: 国定公園内の「箕面川床(みのおかわゆか)」で 心ときめくせせらぎごはん。

平成22年度から、河川敷占用許可準則の特例措置により河川占用の規制緩和を受け、箕面川にかつて存在していた川床を社会実験の形式で復活。好評を博し、平成24年度からは本格実施を開始。水辺空間を活かした箕面ならではの新たな観光拠点として賑わい創出に大きく寄与している。

施設整備の状況図



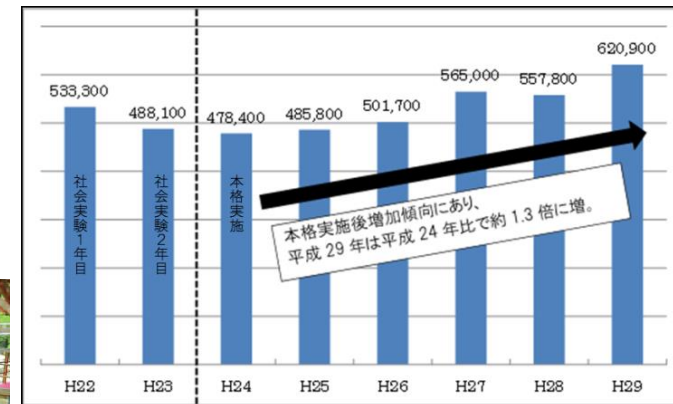
「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」と同時に取組を実施。転落防止柵の設置、滝道的美装化、ガス灯風照明灯の設置などで、滝道は快適な歩行空間が確保されている。

展望デッキ(川床)の設置などのハード施策を実施。

PRポイント

- 名勝地の箕面山は我が国最初の公園地で、明治31年には大阪府営箕面公園が開設。昭和42年には「明治百年記念事業」として国定公園に指定された。箕面市かわまちづくり計画では、ここで「箕面川床」を中心とした水辺空間の活用を実施。
- 関連事業である「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」により滝道的美装化を進めると同時に、箕面川にかつて存在していた川床を復活させたことで、「明治の森へいざなう街・箕面」としての一体的な価値形成に成功。
- 箕面川床営業期間中の箕面公園入込客数は、川床本格実施の平成24年以降、大幅な増加傾向にある。

- 推進主体: 箕面川床協議会
 構成員: 箕面市(事務局) 大阪府 京都市立芸術大学 京都造形芸術大学 等
- 代表者: 京都市立芸術大学
 名誉教授 池上俊郎
- 整備状況: 完成供用中



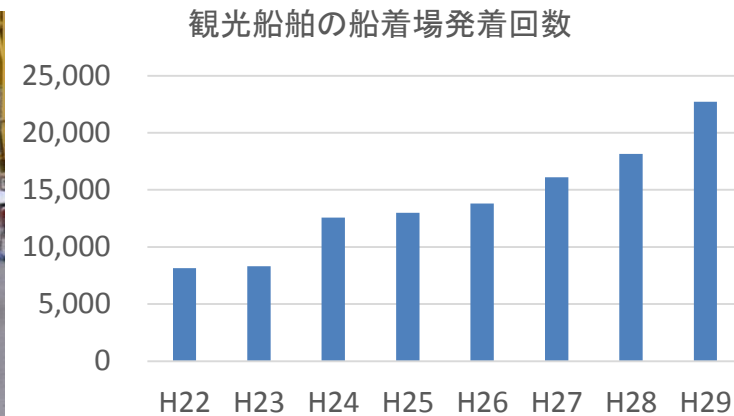
○府営箕面公園の入込客数
 (主な箕面川床営業期間である4月から10月の延べ人数)

かわまちづくり 事例(大阪市 道頓堀川など)

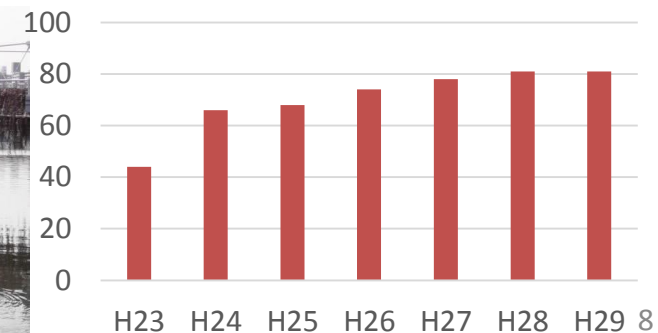
民間との連携による賑わいあふれるミズべづくり

大阪市により整備された遊歩道 (とんぼりリバーウォーク)

- ・公募により選定された民間事業者が、遊歩道の管理・運営を行い、オープンカフェやイベントの誘致、広告事業などを民間ノウハウを活かして展開しています。
- ・こうした賑わい創出の取り組みにより水辺と地域の魅力が向上し、多くの店が川に入口を向けたり、民間による観光舟運も活発に行われるなど、さらなる賑わいの創出に積極的に取り組んでいます。



出入り口が河川側にある店舗数



かわまちづくり 事例(山形・広島)

「かわまちづくり」による効果事例
長井地区かわまちづくり
～“かわ”から“まち”へ “まち”から“かわ”へ～

平成30年度『かわまち大賞』 別紙2



最上川(山形県)

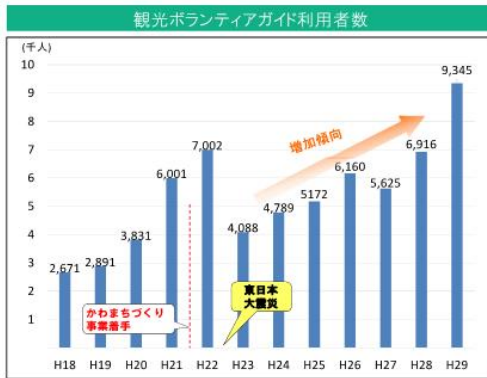
● before



● after



- 長井市は、舟運時代に終着の港町として栄え、最上川沿川には当時を思わせる水路や建造物が数多く残されている。この歴史的な地域資源や、最上川の四季折々の自然を満喫できるフットパスを整備
- 平成29年4月には、“かわ”と“まち”を繋ぐ中間地点に道の駅「川のみなと長井」がオープン
- 1年を通して様々なイベントが開催されている他、観光ボランティアガイドによる“まち”“かわ”の案内も盛んに行われ、さらなる賑わいを創出



ストック効果

「かわまちづくり」による効果事例
水の都ひろしま
水辺のオープンカフェ

平成30年度『かわまち大賞』 別紙2



元安川親水護岸(広島県)

● before



親水テラス等の整備

● after



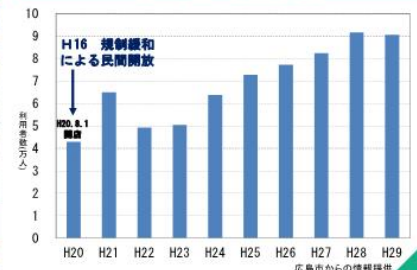
世界遺産原爆ドーム前や平和記念公園を流れる元安川において、親水テラス等の整備により、「水の都ひろしま」にふさわしい風景を創出

河川空間の利用の規制を緩和し、オープンカフェを常設し、平和記念公園の来訪者に憩いや交流の場を提供。利用者数は9万人に

元安川親水テラスの活用



オープンカフェ利用者の推移



オープンカフェの利用者数が大幅に増加

ストック効果

かわまちづくり（おわりに）

本省HP

相談窓口「かわよろず」

KAWAMACHIDUKURI KAWAYOROZU

水管理・国土保全局は、地域の人々が様々な観点から川との良好なつながりを築くことで、

その地域ならではのまちの価値を高める「かわまちづくり」を支援しています。

これまでなかなか関わりが難しかった民間企業等の方々にも、

積極的にかわまちづくりの主体者の一員となっていただけるようになりました。

河口から上流まで、そこに川や湖があれば、その水辺が有する

景観・歴史・文化等の魅力を活かした地域活性化が図られるよう、

精一杯お手伝いします。

「かわよろず」は、次に関連するご相談を承ります。

- ・「かわまちづくり」支援制度に関すること
- ・ミズベリングに関すること
- ・河川空間のオープン化（河川敷地占用許可準則の特例）に関すること
- ・川の水を利用した発電に関すること
- ・その他、河川の空間及び流水の利活用、河川改修にあわせたまちづくりに関する事など

お気軽に「かわよろず」にご相談ください。



近畿地方整備局管内の河川での「かわまちづくり」計画の策定等に関する専用窓口は、河川部河川環境課（国管理区間）、地域河川課（都道府県管理区間）

お気軽にご相談下さい。